

阪神淡路大震災から10年が経過した今日までに大きな被害をもたらす地震が幾度か起こっています。これに鑑み近年は福山市内でも自主防災訓練を行う地域が増えてきました。

ほんわかではこの動きにも連動し中国帰国者を支援する取り組みを進めています。

意思を伝えるセミナー「返りカード作り」

ほんわかでは福山市にお住まいの中国帰国者に対する支援や地域との交流促進を事業化してきました。その中で中国語が話せなくても意思を伝える方法はないものか検討してききました。そして最も必要な情報を選びカードを提示することで伝達できないかと考えました。さらに多言語で表示したら在住外国人への支援にもつながるのではないかと考えました。現在は最も必

中国帰国者と交流促進を 義倉財団から助成受け実施 その2

要な情報となる言葉を当事者や周辺の住民の方から生活の中で経験したことなどの聞き取り調査を行っています。

在住外国人が言葉の壁によってライオンに関する情報を知ることができにくい報道は新潟県中越地震でもありました。

現在福山市には5千人以上の外国人や中国帰国者が生活しており、災害時にはこの教訓が生かされなければいけない地域です。

読者のみなさまの中で必要だと思う内容がありましたら福山バージョンの製作にぜひご協力ください。

今回は自然と親しめ

市のイベントに子ども育成のノウハウで協力

11月5日(土)～6日(日)に福山市子どもフェスティバルが開催されます。これは市内5つの社会教育センターが協力して行うイベントで、毎年「教育の日」に合わせて開催しています。中央公民館をメイン会場に周囲の緑町公園やローズアリーナでも様々な企画を準備しているそうです。

ほんわかでは今年度初めて協力団体として参加することにしました。子ども育成事業のノウハウを生かして楽しい企画を提供したいと思えます。

子どもフェスティバルで ネイチャースポーツ

内容の要望もあり「ネイチャースポーツ」と題したウォークラリーを実施することになりました。

中央公民館に隣接する緑町公園を利用して木や花や生き物とふれあいながら、環境問題についても考えることができるよう企画を進めています。

またメイン会場の中央公民館駐車場で、食育に関する展示ブースを出店し、有機無農薬を徹底的に追求して作った牛乳やコーヒール牛乳の販売も実施します。

ほんわかの子どもの育成事業は自分自身も周りの人も大切にしながら夢や希望をもつて学校生活を始めとした毎日の生活を過ごせるようサポートすることを重要なミッション(使命)に据えてと活動を行っています。子どもフェスティバルでもこのミッションを大切にしながら企画を進めています。子どもフェスティバルにぜひご来場ください。

ほんわかスクール 生徒募集中

○フリースクール

・AM 9:00～12:00
・PM 13:00～16:00
月謝 25,000円(週2日)

○教科学習スクール

対象 当面は中学生のみ
教科 当面は英語のみ
日時 当面は毎週火曜日のみ 18:30～20:00
月謝 3,000円(週1回90分)

○教育相談

1件 3,000円(2時間程度)